

# HOT LINE

## 第2回 院内バレーボール大会

H17年5月21日(土) えぶり小学校体育館

優勝:リハビリテーション+江島Dr.チーム

第2位:ICU+栄養科チーム

第3位:外来+医事課+総務課

福岡新水巻病院

### No.3

平成17年10月1日



### 病院理念 『手には技術、頭には知識、患者様には愛を』

- |  |  |  |
|--|--|--|
| <p><b>基本方針</b></p> <p><b>1. 高度医療</b><br/>学問的に、技術的に高い水準の医療を提供します。そのために必要な施設・設備の整備拡充に努めます。</p> | <p><b>2. 総合医療</b><br/>患者様と医療情報を共有し、急性期治療から、早期リハビリ、在宅医療まで一貫した、患者様のニーズに沿った安全で安心できるチーム医療を提供します。</p> | <p><b>3. 地域医療</b><br/>地域の医療・福祉施設と密接な連携を回り、いつでも誰でも安心して利用できる、救急医療に重点を置いた地域医療の中核病院を目指します。</p> |
|--|--|--|

医療法人財団 池友会 **福岡新水巻病院**

〒807-0051 福岡県遠賀郡水巻町立屋敷1丁目2-1  
TEL 093-203-2220 (代) FAX 093-203-2221  
E-mail soumu@shinmizumaki-hp.jp  
ホームページ <http://www.10.ocn.ne.jp/~mizumaki/>

## 平成18年度 臨床研修医 マッチングに参加します!! (定員6名)

※ 随時病院見学募集中: 日帰り見学、一泊二日、二泊三日程度の泊り込み体験など 随時受け付けています。(食堂・宿泊施設完備・交通費支給)

担当: 濱口・矢野 不在時: 総務課 今林



### 臨床研修医紹介



臨床研修医  
**江島 和久**  
平成16年度卒  
久留米大学  
医学部医学科卒業



臨床研修医  
**角谷 学**  
平成16年度卒  
産業医科大学  
医学部医学科卒業



臨床研修医  
**陶山 俊輔**  
平成16年度卒  
久留米大学  
医学部医学科卒業



臨床研修医  
**山里 隆浩**  
平成16年度卒  
琉球大学  
医学部医学科卒業

スタートしてから3ヶ月弱外科でいろいろなことを学ばせてもらっています。少しでも早く自分の力にして患者様に役立てるようにと日々がんばっています。

実際の現場において、初期診察から診断経過、その後のフォローの仕方までを上级医の先生方に丁寧に指導していただいています。また救急の現場で必要な手技を実際にさせていただき知識と技術の両面でとても勉強になり充実した毎日を送っています。

現在、循環器メインの内科にて研修しています。心臓カテーテル検査、治療、心エコー検査、負荷心筋シンチ検査の現場に参加し、たくさんの手技をさせてもらっています。また、病棟での受け持ち患者数も徐々に増え、毎日忙しいなか充実した毎日を送っています。

福岡新水巻病院研修医1年目の山里隆浩です。この病院の魅力は救急車が到着すると、研修医全員を呼んでくれてあらゆる救急疾患の初期診察を見られるところです。プライマリーケアを勉強したい方にはおすすめです。

### お知らせ 皮膚科外来開設 皮膚科外来を下記の日時で行っております。

**皮膚科外来診察日**  
毎週木曜日  
9:00~12:00

**疾患**  
アトピー性皮膚炎・  
湿疹等



佐多 健



今年の夏は、梅雨も短く、海水が起る地域もありました。また、9月6日の台風14号の際に、被災された方々にはお悔やみ申し上げます。  
池友会は、今年度より世界の福岡先生が、東アジア脳神経センター手術顧問に就任され、今以上に、活気づくと思われれます。  
当院も、今以上活気づけば良いと思います。

### 編集後記

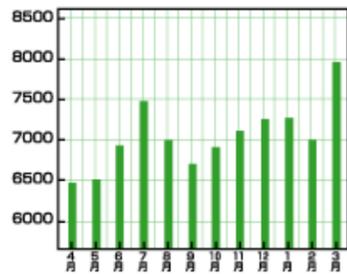


一年間の業績 期間：2004年4月～2005年3月

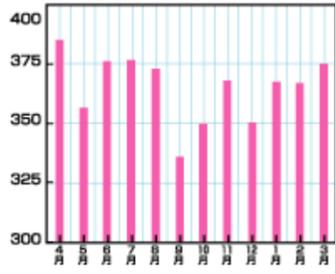
渡辺副院長  
コメント

検査・診断関係の内視鏡、人間ドック等は安定した推移で経過しております。  
心臓カテーテルは年を通じて増加傾向ですが、今後より積極的に行っていきたいところです。  
診療関係の外来・入院患者数、手術件数は、秋から冬にかけ増加し、診療部門の充実の様子が数字からも伺えます。

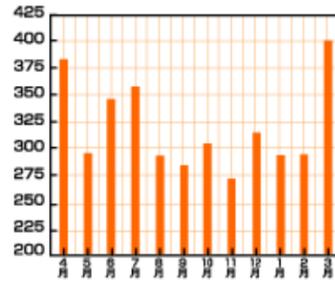
外来延べ患者数の推移



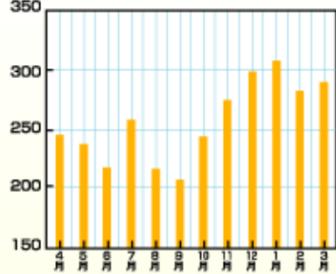
入院延べ患者数の推移



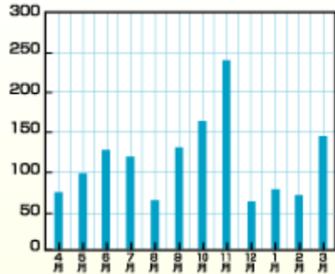
紹介患者数の推移



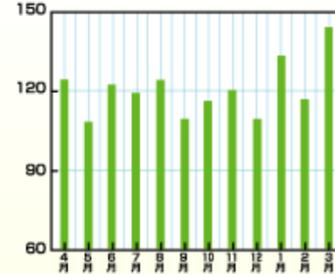
救急件数の推移



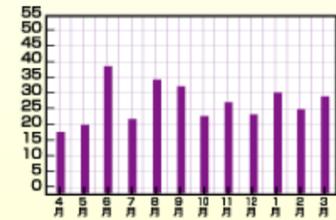
人間ドック件数の推移



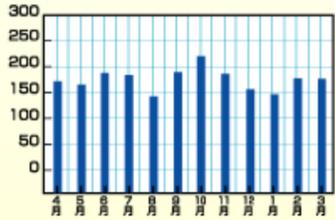
手術件数の推移



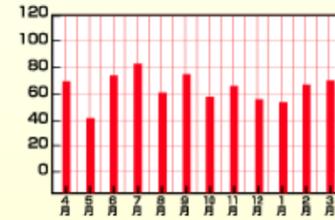
心臓カテーテル件数の推移



胃カメラ



大腸カメラ



武藤副院長が、国立病院において長年にわたり看護活動にご貢献された功績が認められ、この度めでたく、春の叙勲「瑞宝双光章」を皇居にて授章されました。名誉ある叙勲を受けられたのは、池友会関連病院では初めての事で、看護協会ニュースによると、春の叙勲を受けられた看護職の方は全国で99名、福岡県からは武藤副院長ただ1人でした。

また、6月5日グランドハイアット福岡にて「叙勲祝賀会」が蒲池会長、藤井院長、木下看護局長をはじめ関連病院施設から総勢50名出席され、盛大に会が催されました。

福岡新水巻病院  
看護部長 國本 綾子



武藤副院長  
叙勲受賞記念パーティー



院長  
藤井 茂



院長より

当院も開院後2年が経ち、病院機能評価受審、県の救急告示病院指定を受け、地域の医療施設との連携、救急隊との連携及び救急救命士の教育、臨床研修施設として研修医教育、地元住民に対する講演・医療啓蒙活動等と役割が増えると共に、さらに地元に着目した医療サービスを提供するために日々努力しております。

次頁の業績表が示すように、昨年度の実績と比較して全ての部門で飛躍がみられます。新規に開院して間もないことを考えるとすごいことですが、これも地域の病院、診療所の先生方のご理解、ご支援によるものと思えます。地元救急隊との勉強会を通じたお互いの努力の成果と考えます。心肺停止患者さんの救命率、社会復帰率が非常に高いのも当院の特徴と言つてよいと思えます。紹介率も35%前後で推移しており、これも予想をはるかに上回るものです。救急件数も280件/月前後であり、これは地域の全救急件数の約3分の1と聞いています。外来患者さんは1日平均300人であり、これも予想以上の増加です。

では、これから当院が目指す患者さんへのサービスとはなにか？満足度を上げるために、①外来待ち時間を減らす(予約診療の質を上げる)②当院の特

徴である、予約無しですぐにMRIなど高度な検査ができる③結果を当日に説明し、必要ならすぐに治療が開始できる④安定した患者さんは地元の診療所に逆紹介する⑤高度な専門性⑥救急医療のさらなる充実⑦セカンドオピニオンの推進、などを考えています。

開院時より、「川のせせらぎ外来」、「うまい、安い、早い医療」、「職員の全人的教育」、「医師に必要な3つの要素、アベリビリティ・アフアビリティ・アビリティ」、「職員はみな家族」、「断らない救急医療」、「24時間いつでも高度医療」、などいろいろキャンペーンをはってやってきましたが定着しつつあるものと、まだまだなものがああります。教育、勉強会を通して、また自発的な研修会、研究会を通して定着を図りたいと思えます。

他の頁にもいろいろ写真があり、お気づきでしょうが、当院は職員が若く活気が有り、また職員どおしの仲が大変良いことです。チーム医療を行うに当たりこれは大変有益なことです。病院が新しく、きれいで、職員も愛想が良く、活気に溢れている、患者さんも自然に治療、リハビリなどに積極的になる雰囲気がこの病院には備わっているとあります。早く診断し、治療を開始

し、筋力が落ちる前に離床する。早く退院できれば入院料も安くなる。これが「うまい、安い、早い」の理論ですが、なかなか実践している病院は少ないと考えます。

これからの目標として、さらに高度な医療機器の導入、現在の当院の特徴をさらに伸ばすための新しい計画の立案、新しい人員の確保(特にスペシャリティを持つ人員)、リーダーの育成、チーム医療の充実のために若いスタッフに対する教育、またチーム医療への積極的参加、等たくさんありますが、「全ては患者さんのために」を合言葉に推進して行きたいと思えます。



# マンモグラフィ(乳房撮影)検査を受けられる方へ

マンモグラフィは触知できないような早期の乳がん診断に極めて有効  
乳がんに対する意識の低さによる乳がん検診率の低迷

より良い画像(写真)を得るため、  
下記についてのご理解とご協力をお願いします。

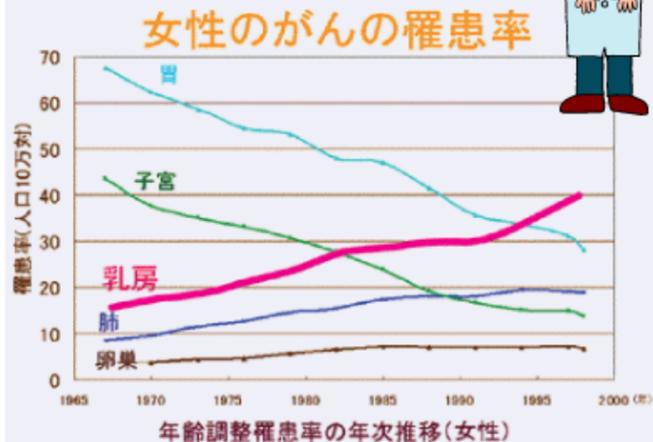
乳房は柔らかい組織で出来ているため、専用のX線装置を使って撮影します。その際、普通のレントゲン検査よりも弱いX線を用いるため、洋服や毛髪でさえ写ってしまいます。

そのため、上半身の衣類は検査時に全て脱いでいただきます。また、場合によっては髪を結んでいただくようお願いすることがあります。

乳房の厚さが不均一では、乳線が明瞭に描出できません。また、乳腺が重なっていると腫瘍などの区別がつきにくくなってしまいます。

そのため、乳房を機械操作により均一に圧迫します。また、乳腺の重なりを出来るだけなくするため、乳房を強く圧迫します。また、撮影を行う女性技師が直接触ります。

※この際、強く圧迫をしますので痛みを感じることもありますが、良い写真を撮るために少しの間ご協力下さい。なお、圧迫は技師の操作で調節できますので、過度の痛みが生じるような場合は遠慮なく申し出てください。



当院では、より精密な検査と乳房専門医による診断を行っています。

そのため、当院では各2方向、両方の乳房で計4回撮影を行います。一般的な健診施設では1方向(両方の乳房で計2回撮影)のみの検査ですので、**他施設よりも検査時間は長くなります。**検査時間には個人差がありますが、**およそ20分程度を目安にしてください。**

# あなたの“骨”は健康ですか？

高齢化社会を迎えつつある現在において、「骨が弱くなる・もろくなる」骨粗鬆症の患者さんが増加している傾向にあります。その数は現在日本全国に1000万人以上いるといわれ、男性では80歳以上、女性では60歳以上のおよそ半数が骨粗鬆症にかかっていると推定されています。また、この病気は圧倒的に女性に多く、閉経期の40~50歳代から急速に進行することが分かっています。

骨粗鬆症の特徴としては、全身の骨がもろくなり、腰痛、背中、足の痛みが、腰が曲がったりするばかりでなく、軽く転んだだけでも骨折を起こしやすくなるといわれています。しかし、骨粗鬆症は自覚症状がほとんどないため、骨折して初めて気づくことも少なくありません。そこで、この病気にならないよう早くから予防しておくことがとても大切になります。

## その対策としては

**現在の骨の健康度をしっかりと把握する。**  
**自分の骨の健康度に合わせて食事や運動を日常生活の中に取り入れる。**

※骨の健康度とは、骨に含まれるカルシウムなどの量(骨量)のことです。



当院においても、皆様方の「骨の健康度」を知っていただく為、**骨密度測定装置**を設置いたしております。この検査は、X線の透過率を利用して骨の密度を測定します。被曝線量はごく微量で、2~3分程度ベッドに寝ていただくだけで測定できますので、痛みも無く安心して受けられます。

ご相談は当院の外来又は健診室までお願いします。

福岡新水巻病院 放射線科

# “ブラックジャック” 福島先生の手術を見学して



脳神経外科医師  
大中 洋平



5月8日、新しくなった福岡和白病院・東アジア脳神経センターで行われた福島孝徳教授の手術を見学してきました。今回の予定は脳腫瘍5例(聴神経腫瘍、頭蓋咽頭腫、下垂体腫瘍、脊索腫)顔面痙攣1例でした。どの症例も腫瘍が大きかったり、脳幹部や脳神経に癒着していたり

と難しい症例ばかりでした。患者さんほかの病院で手術困難と判断されたり、症状の進行を来しゴッドハンド福島先生に最後の望みを求め来院された方たちでした。

朝7時。1例目の患者さんが手術室に搬入され手術が始まりました。どの手術も難しいものでありこの時点で皆「すべてが終わるのは日付けが変わるころかな」と考えています。しばらくすると福島先生が手術室に来られます。「世界の福島、ゴッドハンド福島」と呼ばれるくらいに先生です。皆さんはすくなくとつきにくい印象を覚えるかもしれません。しかし福島先生はいつも大きな声で「おはよう!! 今日もう一日大変だけど皆さん頑張りますよ!!」と満面の笑みで手術室に来られます。足にはいつも白足袋をはかれています。颯爽と手術室を駆け回ります。そしていよいよ福島先生の執刀となります。脳神経外科の手術の多くは顕微鏡を用いて行われますが(マイクロ・サージャリー)、和白病院には福島先生が開発に携わった金色の顕微鏡があります。それを巧みに使い手術を進めていきます。みなさんは「脳の手術」といってどういふ様子をイメージしますか? 頭蓋骨を開いて、大きく露出し

た脳に向かって医師がメスを入れていく、といった姿を想像するかもしれません。そのような手術であればもちろんダメージは強く後遺症を残す可能性は高くなります。しかも、脳は人体の中でもとりわけ繊細な器官であり、なおかつ人が人としての感覚や感情を保持するために、あるいは身体を思うように動かす上でも重要な器官です。また視覚、聴覚などさまざまな神経が縦横に走っています。「どうすれば患者さんに過剰な負担をかけずに脳外科手術ができるか?」と考え福島先生が考えだされたのが「鍵穴手術(キーホール・サージャリー)」です。鍵穴手術とは頭に小さな穴をあけそこから手術を行う方法です。もちろん患者さんへの負担は飛躍的に減少します。また、手術器具に対してもこだわりをもたれおり、自分で開発された道具をいつも持ち歩かれています。手術中の福島先生は顕微鏡に向かい黙々と病魔に立ち向かわれます。脳神経外科の顕微鏡を使った手術では、両手はもろること両足もペダルを踏むために使われます。福島先生は両手両足がまるで二つが独立したもののようによく無駄がなく動き手術を進めていかれます。手術中周りの先生方に指導しながら手術を進めていきますが、話をしている間も全く手が止まることなく、さらにすいのは使用している器具の先が震えたり、ぶれた使用することがありません。福島先生は常

日頃から「血をだしてはだめだよ! 赤血球が見えたらだめですよ!」とおっしゃっています。福島先生が執刀される手術では出血が少なく、仮に出血したとしても的確な止血が素早く行われ大変術野が綺麗です。

今回も次から次へと難しい手術をこなしていき、誰もがこれは無理だろうと思えるような腫瘍も全摘し無事手術は終わりました。終わって手術室を去る福島先生には全く疲れた様子もなく「みなさん、ご苦労様でした!! 今日もう厳しかったけど良かったですね!! また次回も頑張ります!!」と大きな声で挨拶され手術室を後にされました。

今回福島先生の手術を見学し、世界一流の技術に触れ大きな刺激となりました。と同時にいつも患者さんのことを一番に考え、世界を舞台に活躍されている福島先生の手術を見学し自分も少しでも福島先生に近づけるよう日々努力を重ねていくことが大切だと学びました。



# 遠流 NEWS

えんりゅうニュース



5月8日(日)水巻町のソフトボール大会に、立屋敷地区のチームとして参加しました。水巻町の二員として、多くの方々とスポーツを通じて交流ができ、とても良い汗を流すことが出来ました。

## 水巻町ソフトボール大会



4月10日(日)水巻町の八剣神社にて、樹齢推定二千年と言われるイチヨウの木の上で縄作りに参加させて頂きました。伝説も残ると言われる木を前にして、この地域の歴史の深さというものを改めて実感致しました。

## 縄作り体験



5月30日(月)病院全体での防災訓練が実施されました。万一の事態に備え、患者様の誘導や避難など、落ち着いた行動を取ることを職員一同再認識致しました。

## 防災訓練

5月30日(月)病院全体での防災訓練が実施されました。万一の事態に備え、患者様の誘導や避難など、落ち着いた行動を取ることを職員一同再認識致しました。



遠賀4町や中間市など、病院と深く係わりのある地域の方々に対象として、定期的に講演会を開催しています。地域に密着した病院を目指し、活動を行っています。

## 地域講演会



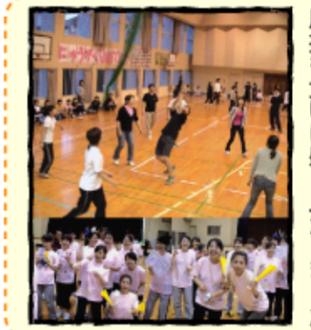
今シーズンも終盤を迎え、現在5勝4敗の成績です。今季の目標である北九州リーグ進出を目指し、選手や応援団一丸となつて頑張ります！

## 野球部



サッカー部が結成され、宗像市にあるグローバルアリーナにて初の試合が行われました。トーナメント形式で行われ、初参加にして準優勝という快挙を成し遂げることが出来ました！

## フットサル部



水巻町小学校にて、第二回院内バレーボール大会が行われました。昨年のリベンジに燃えるチームもあり、参加者はもちろん応援も大いに盛り上がりました。

## バレーボール大会



7月16日(土)芦屋町の海水浴場にて行われ、バレーボール等を楽しみながら職員同士の親睦も一層深まり、海辺で大いに盛り上がりました。

## 院内海水浴

## 水巻・岡垣の婦人部リーダーの方々と高校生



## ふれあい看護体験

八幡南高校 2年2組 國武 瞳  
僕が看護に興味を持ち出したのは中学3年の冬でした。その頃家族の中で入院しているのが2人もいて、病院に通う事が多くなったのです。その時、入院していた家族の一人が「病院はいいところ」「看護師さんたちの対応がとてもいい」など何度も何度も聞いていたもので、少しずつ看護に興味を持ち始めました。そんな時にこのふれあい看護プログラムの案内がきたので、僕は早速申し込みました。このような貴重な体験を一つでも多くしておこうと思ったからです。  
そして看護体験当日、病院での仕事は全て驚いたり、感激するものばかりでした。例えば患者様の足や頭を洗った時、普通僕達が洗う時とは違い、とても手間や準備に時間がかかるものだと知りました。初めてのことはばかりでも緊張してはいたけど、看護師さんや患者様のやさしい対応のおかげでもっとリラックスでき、仕事が楽しくとさえ思えました。そして仕事が終わった時に患者様が「ありがとう」と言ってくれたのが本当にうれしかったです。  
このふれあい看護体験プログラムに参加できて本当に良かったと思っています。おかげさまで益々看護に対する関心が増してきました。これからもこのような体験に積極的に参加していき、また看護に必要な知識や技術などを学んでいきたいと思っています。

- ① BLS=Basic Life Support (一次救命処置)
- ② ACLS=Advanced Cardiovascular Life Support (二次救命処置)
- ③ AHA=American Heart Association (アメリカ心臓学会)
- ④ AED=Automated External Defibrillator
- ⑤ EBM=Evidence Based Medicine (問題点について文献を検索、吟味し、有効な情報を得て実践すること)



外来 副主任 佐々木 和弘

平成17年3月12、13日の2日間、第1回福岡和自ACLSコースnonAHA.2日間コースを受講してまいりました。  
ACLSとは2次救命処置のことです。救急医療の発展とその教育のために生み出したEBMの結果であり、その内容は心肺停止や重篤な不整脈、急性冠症候群、虚血性脳卒中、安定している頻拍でも網羅されています。ACLSコースは米国において、先述の初期診療のスタンダードとして既に定着しており、日本でも数年前より爆発的に広がってきました。  
受講者は医師、看護師、救急救命士、医学生、コメディカルスタッフですが、職種によって受講内容や試験内容が変わることはなく、皆が同じ内容を修得します。  
ダメ！、不整脈のシミュレーターを用いて心肺蘇生の臨床現場をリアルに再現し、AHAが推奨する国際基準の方法で訓練を受けます。例えば、安定した頻拍で来院した患者に頸動脈マッサージを施行し頻拍が治まらず薬物による治療を実施したところ急変する。  
そこからACLSのアルゴリズムに従い次から次へと変化する状況に冷静に対応していくという訓練を受けます。ダメ！の人数に本番さながら気管内挿管を行ったり、心臓マッサージ、除細動を施行したりします。  
米国の統計では、突然生じる非外傷性の心停止はほとんどが心室細動(VF)であり、EPRに搬入される心臓停止患者の約45%はVFであるといわれています。VFを治療できるのは電気的除細動のみでありそれが1分遅れるごとに7~10%ずつ生存退院率が下がっていきます。米国では除細動はBLSであること明示されており、今回この池友会ACLSコースのBLSはAEDの使用方法について訓練を受けることができます。  
このコースを受講させていただき今まで知っていたようで知らなかったことが、誤った認識など多く気付くことができました。また、急変時に素早く適確に落ち着いて対応することができるようになり、視野を広げることができたと思います。  
全てのケースでアルゴリズム通りに実施することはなく(救急の現場ではスタンダードとして認識し、応用活用していくことが大切だと思いましたが、一人でも多くの患者様の大切な命を私ども医療従事者が救うことできるよう、今後も知識と技術の向上に努めてまいります。このような機会を与えていただきありがとうございます。

## ACLSを受講しました